

2026・1・14

＜2026年大学日本画展開催のお知らせ＞

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）は、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生・卒業生に発表の場を提供しております。この企画は、日本画を志す若手作家の育成とともに、全国の美術教育・研究活動を支援し、日本画の伝統と日本文化の「美意識」「精神性」「技法」を未来へ受け継ぐことを目指すものです。

2026 年から 10 校が参加、若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（1 月～8 月）です。今回は 2 月 25 日（水）から武蔵野美術大学日本画学科卒業生、沖綾乃・吉田真納タルーラ・寺野葉 3 名による展覧会を開催いたします。

■展覧会概要

タイトル	『矜持』 第 41 回大学日本画展 ＜武蔵野美術大学日本画学科卒業生 グループ展＞～
会 期	2026 年 2 月 25 日（水）～3 月 11 日（水）【入場無料】 11:00 ～ 19:00（月曜定休・3 月 9 日（月）は開館 /最終日 17:00 まで）
会 場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	沖綾乃（オキアヤノ）・吉田真納タルーラ（ヨシダマナタルーラ）・寺野葉（テラノウ）
展覧会内容	題名の「矜持」は、各作家の作品に対しての誇り、自分の信念を曲げない強さを表しています。伝統と現代が交錯する日本画の世界において、決して同じ方向を向いてはいません。しかしどの作品にも共通して感じられる、「揺るがぬ姿勢」があります。 作品を通してそれぞれの「矜持」を体感できる展示にしています。 展示内容は、横幅 5m の作品と、100-0 号程度の作品を 10 点前後、8×8(cm)の作品から 60 号程度の作品を 15 点程、約 4m の作品と小作品を約 10 点展示予定です。
主 催	武蔵野美術大学日本画学科研究室
企 画	UNPEL GALLERY
協 賛	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

＜ご連絡・お問い合わせ先＞

ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 /井上・渡邊）

E-mail / tsubaki@unpel.gallery <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

沖 綾乃 Oki Ayano

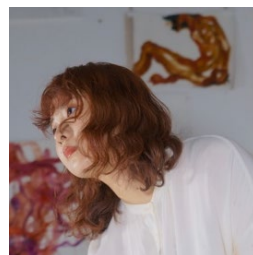
栃木県出身

2020 年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業

展示歴

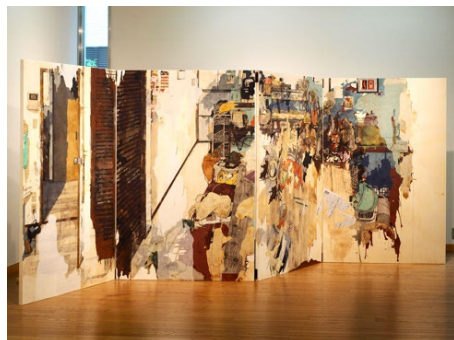
2020 年 2019 年度武蔵野美術大学卒業・修了制作展
日本画学科優秀賞 受賞2024 年 個展「リビングルーム」(コート・ギャラリー国立)
個展「日々」(八犬堂ギャラリー)

2025 年 個展「糸を縫る」(秋華洞)



【コメント】

人物、また彼らの生活空間に興味があります。
生活と共に堆積していく記憶や時間をテーマに、コラージュの技法を
用いながら制作しています。



「リビングルーム」

2024 年制作
1820×4800mm
岩絵具、箔、和紙

吉田 真納タルーラ Tallulah Mana Yoshida

東京都出身

2024 年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業

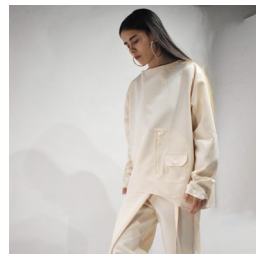
2026 年 武蔵野美術大学院造形研究科修士課程日本画コース 修了 見込み

展示歴

2024 年 2023 年度武蔵野美術大学卒業・修了制作展日本画学科
優秀賞 受賞

【コメント】

重なり合った全ての波は、目で捉えたその時に集まって形を成す。瞬きをすればまた
波が解け重なり合う。
宇宙物理学、量子力学で説明されるイメージ、本を読んだ時の脳に浮かぶビジョン
から着想を得て制作しています。



「Sapiens」

2025 年制作
2000mm×1000mm
サテン、アクリル、ペンキ

寺野 葉 Terano Yo

大阪府出身

2022 年 武蔵野美術大学院造形研究科修士課程日本画コース 修了

展示歴

2022 年 個展「○」REIJINSHA GALLERY(東京都)

個展「◎」アートスペース羅針盤(東京都)

2023 年 個展「home」松坂屋上野店本館 7 階アートスペース (東京都)

2024 年 個展「human」八犬堂 (東京都)

アートオリンピア 2024 入選

2025 年 東京美人画展 大垣書店麻布台ヒルズ店 (東京都)

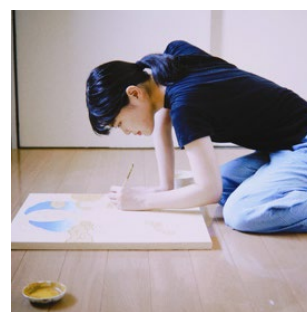
岩田壮平×高島圭史によるグループ展－Session－

福山天満屋 4 階美術画廊 (広島県)

【コメント】

「身の回りのもの」をテーマに作品を制作しています。

また主に人物画を描いているのですが「生活している様子を切り取った姿」ではなく「生活している上で見かける憧れの対象」という様にファインアートよりもデザイン的なアプローチを意識しています。



「Tokyo」

2025 年制作

F15 号

雲肌麻紙、岩絵具、アクリル絵具